

# 第 117 回 人材開発研究会

## メインプログラム：「新しい公務員倫理研修」（3月1日実施）

これまでの公務員倫理研修は、公務員にルールを守らせ、不祥事をおこさせないようにすることを目的とされてきました。これは重要な取り組みですが、不祥事とは無縁の大多数の公務員にとってはあまり意義あるものとはいえません。

「新しい公務員倫理」研修は、この次のステップになります。公務員がよりよい行政について考えるための思考法、価値観を身につけ、これを習慣化させることにより、その実現をめざすものです。

今回の研修会では、よりよい判断のための思考のツールとして倫理的な思考法を学びます。また行政職員が直面する様々な問題に対して、倫理的な思考法を応用することで解決の糸口を見出すグループディスカッションを行います。

最後に「新しい公務員倫理」研修の進め方についても講義します。

### 【新しい公務員倫理研修プログラム】（10:00～16:00）

#### 【基調講義】

- ① 新しい公務員倫理とは何か（30分）
- ② 思考を整理する道具としての倫理学説（30分）

#### 【事例討議】

- 事例討議 1（功利主義と義務論を使って考える）（45分）
- 事例討議 2（自由主義と他者危害原則について考える）（45分）
- 事例討議 3（パターンリズムの考えを理解する）（45分）
- 事例討議 4（ロールズの正義論を使って考える）（45分）

#### 【まとめ・振り返り】

- 新しい公務員倫理の考え方をどのように公務員研修の中に取り入れるか（討議：35分）

## 【担当講師プロフィール】

### 近畿大学経営学部 教授

中谷 常二（なかや じょうじ）講師

京都大学大学院修士課程修了。大阪大学大学院博士課程修了。博士(国際公共政策)。日本学術振興会特別研究員、ミネソタ大学カールソン経営大学院客員教授などを経て、現職。人事院公務員研修所客員教授を兼任。公務員の倫理研修を多数手がける。近年はマレーシアやミャンマーなどの海外の中央官庁の公務員への研修も担当。専門はビジネス倫理、公務員倫理、ソーシャルメディアの倫理など。NTTグループ各社、JX ホールディングス、花王など多くの企業でも倫理研修を実施。おもな著作:公務員倫理関係:『公務員の職業倫理教育についての一考察』日本経営倫理学会誌第22号、『日本の公務員倫理を確立させた国家公務員倫理法』人事院月報第788号、『新しい公務員倫理の在り方を考える』試験と研修第32号、『公務員倫理の考え方』公務研修第207号

### 人事院公務員研修所 政策研修分析官

阿久澤 徹（あくざわ とおる）講師

昭和56年人事院採用。米国ウィスコンシン大学大学院にてマクロ経済学を学ぶ。その後、人事院職員課長補佐(服務班)時代には大蔵省職員の過剰接待問題、薬害エイズ問題、厚生省事務次官の収賄問題などに関わる。また、倫理審査会首席参事官、立命館大学大学院公務研究科教授時代には、公務員倫理問題に関する研究を行っている。公務員研修所主任教授を経て現職。

### 人事院公務員研修所 主任教授

高嶋 直人(たかしま なおひと)講師

人事院研修指導課長、同総務課長、立命館大学院公務研究科教授等を経て現職。自治大学校、全国市町村国際文化研修所、東北自治研修所、大阪市等において、自治体職員を対象に「公務マネジメント」、「人材育成」、「政策立案」等の研修講師を務める。「公務員講座」(地方行政、時事通信)、「コストパフォーマンスを向上させるための人材育成」(ガバナンス、ぎょうせい)等執筆多数。